

# 東大阪市で業務開始

## 第一環境 段階的に範囲拡大

第一環境は東大阪市上下水道局から包括委託業務を受託し、1日から「東大阪市水道サービスセンター」の営業を開始した。市はこれまで直営で行っていた滞納整理などを同社に委託し、効果的・効率的な事務執行と市民サービスの向上、地

関係者によるテープカット



域への貢献を目指す。同日に局水道庁舎で開かれた開所式には、同局の賀川広宣次長兼水道総務部長、同社の岡地雄一社長らが出席した。

あいさつに立った賀川次長は「コロナ禍の中でもわれわれには水道水の安定的な供給を行う使命

がある。センターは本市水道事業における市民の窓口を担うことから、市民に愛される事業となるべく、第一環境と局が一丸となってサービス向上に努めたい」と抱負を語った。

続いて岡地社長は「窓口業務という市民に最も近い業務を受託することで、われわれの対応次第で水道への印象が決まっ

ンターネット受付（水道の使用開始・中止、市内転居手続き等）業務がスタートした。来年1月か

らは第2段階として開閉栓業務、調定業務、電話・窓口受付業務、電話交換業務、料金管理業務を、

同4月からは第3段階として計量審査業務、量水器業務を始めることとしている。